

肢体不自由教育部門 小学部 教科別の指導「音楽」学習指導案

日 時 令和5年11月9日(木) 第3校時 11:20～12:05

1 単元名 「色々な音を楽しもう」

2 単元設定の理由

(4) 学校課題研究との関わり

本校の研究主題である「12年間を見据えた系統的・継続的な指導の充実」、副題「個別最適な学びにおけるICTの具体的活用」との関わりから、映像と音楽をマッチングさせた鑑賞方法を用いて、五感を使って音楽を聴く活動に取り組む。また、手指を自由に動かして楽器を演奏することが難しい児童には、スイッチ操作を取り入れて楽器の音を出すことで、表現する楽しさや自身で音を出すことができた達成感を感じることができるようにする。

3 単元の指導目標

(1) 題材(単元)の共通目標

- 音や音楽に気付き、身体表現や器楽に取り組むことができる(知識及び表現力等)
- 興味関心をもって聴き、音や音楽の楽しさに気付くことができる。(思考力、判断力、表現力等)
- 音楽活動をする楽しさ、心地よさを感じることができる。(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画(本時 5/6時間)

時数	主な学習内容	評価の観点(評価方法)
1	表現 手遊びを楽しもう 「ばんだ・うさぎ・こあら」 「あたま・かた・ひざ・ポン」	知 ・楽器を演奏したり、手遊びをしたりして、教員との触れ合いを楽しみながら、身体を動かすことができる。(表現、身体の動き) 思 ・曲の中で使われている楽器に触れたり、音に合わせて身体を動かしたりして、音楽の楽しさを表情や身体の動きで表現することができる。(表現、表情) 主 ・色々な音や音楽に触れて、楽しさや心地よさを感じたりリラックスしたりして、雰囲気を楽しむことができた。(表情)
2	表現・鑑賞「白鳥～組曲 動物の謝肉祭から」 (チェロに触れてみよう)	
3	・曲で使われている楽器に触れてみよう。	
4	表現「大きな古時計」	
5	みんなで、一緒に合奏しよう。(1～3時)	
6	時計の音を表現してみよう(4～6時)	
	鑑賞 身体をリラックスさせよう。 「星空につつまれて」	

5 本時の学習

(1) 本時の共通目標

- 色々な曲や楽器の音、振動等を体感し、音楽の楽しさを表現することができる。

(思考力、判断力、表現力等)

(3) 展開

時間	学習活動	○個別の支援(手立て) ・指導上の留意点 ◇評価の観点		備考
		A	B	
導入 5分	1 あいさつ	○授業の始まりを意識し、期待感をもてるようにする。 ・T2 一緒にあいさつをしながら、始まりを意識できるよう声掛け等の支援をする。	○授業の始まりを意識し、スイッチを活用して、号令をかける。 ・T3 スイッチの操作を促しながら、必要な支援を行う。	タブレット スイッチ

	2 本時の活動について	<p>T1 本時の活動について、前方スクリーンに映し、一部写真や使用する具体物を見せながら本時にやることを説明する。</p> <p>○本時の活動について、教員と一緒にスクリーンや具体物を見ながら話に注目できるよう支援する。</p> <p>・T2 声掛けをして、視線を向けることができるよう支援する。</p>	<p>○本時の活動について、教員と一緒にスクリーンや具体物に注目できるよう支援する。</p> <p>・T3 声掛けをして、視線を向けることができるよう支援する。</p>	
展開 30分	3 手遊び	<p>T1 まず手遊びです。先生と一緒に身体を動かしながら楽しみましょう。</p> <p>○T2 児童と一緒に歌いながら手や腕を支援し、一緒に身体を動かす。</p>	<p>○T3 児童と一緒に歌いながら身体を動かすことができるよう支援する。</p>	
	4 色々な楽器に触れてみよう	<p>T1 「白鳥～組曲 動物の謝肉祭より」 この曲の中で使われている楽器に直接触れてみましょう。 *チェロの弦を弾いて振動や音を感じる。 「大きな古時計」チェロに合わせて、みんなも、演奏できる楽器を使って一緒に合奏をしてみましょう。今日は、みんなに時計の音を担当してもらいます。「チクタク、チクタク」の部分で、楽器を演奏してみましょう。</p> <p>・T2 チェロの弦を弾いて、振動を感じることができるように支援する。合奏では、楽器を自分で持って演奏できるように支援をする。</p> <p>◇楽器に触れたり、自分で弦を弾いたりして、感触や音、振動を感じることができる。</p>	<p>・T3 チェロの弦を弾いて、振動を感じることができるように支援する。合奏では、スイッチ操作で楽器の音を出すことができるよう支援する。</p> <p>◇教員と一緒に楽器に触れ、弦を弾いた感触や音、振動を感じることができる。</p>	
	まとめ	<p>T1 児童の良かったところを称賛し、評価する。</p>		
	5 宇宙に行こう	<p>T1 音楽の授業を頑張ったので、最後は楽な姿勢になり、リラックスする時間です。マットに移動しましょう。</p> <p>・T2 マット上でリラックスすることができるよう支援する。</p>	<p>・T3 マットに降りて、リラックスすることができるよう支援する。</p>	
		<p>T2、T3 はマットへの移動支援を行い、児童二人がマットに安全に移動できるように配慮する。</p>		

		<p>T1 二人ともマットに降りて、体制が整い次第、天井に星空の映像を映し出して、電気を消す。「星空につつまれて」を流す。</p>	
まとめ 10分	7 次回予告	<p>T1 リラックスすることはできましたか。 次回の時間も同じような活動することを予告する。 児童 B に、終わりのあいさつをお願いします。</p>	
	8 あいさつ	<p>○授業のおわりを意識し、あいさつできる姿勢をつくるようにする。</p> <p>・T2 一緒にあいさつをしながら、意識できるよう声掛け等の支援をする。</p>	<p>○授業のおわりを意識して、スイッチを活用して、号令をかける。</p> <p>・T3 スイッチの操作を促しながら、必要な支援を行う。</p>

6 評価

(1) 本時の共通目標に係る評価の観点

- 色々な音や楽器に触れ、楽器から伝わってくる振動や音を体感し、音楽の楽しさを表現することができたか。
(思考・判断・表現)